

飛鳥・藤原地区における公園事業の整備促進

平成30年7月

【担当省庁】国土交通省、文化庁、文部科学省

国にお願いすること

1. 日本人の心のふるさと「国営飛鳥歴史公園」の利用促進

○飛鳥の周遊観光の中核となる、国営飛鳥歴史公園5地区の一体的かつ積極的な利用促進

2. 特別史跡「藤原宮跡」等を国営公園（口号）として新規事業化

○特別史跡「藤原宮跡」や史跡「飛鳥水落（あすかみずおち）遺跡」・「酒船石（さかふねいし）遺跡」について、観光資源として活用を図るため、国営公園（口号）による整備が必要

3. 国営公園事業に関連して、県が行う公園整備等の推進

○国営公園事業に関連して、県が行う史跡・名勝「飛鳥京跡苑池」の整備推進に必要な予算の重点配分

（歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業 [文化庁]）

現状と課題（背景・要望する理由等）

1. 日本人の心のふるさと「国営飛鳥歴史公園」の利用促進

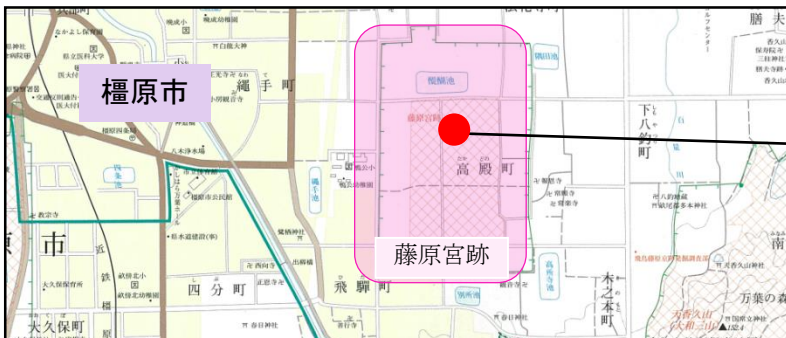
飛鳥の周遊観光の中核となる、国営飛鳥歴史公園5地区は、「日本国はじまりの地」、「日本人の心のふるさと」を実感することが可能な歴史体験型テーマパークとして、一体的かつ積極的な利用促進が望まれている。

2. 特別史跡「藤原宮跡」等を国営公園（口号）として新規事業化

特別史跡「藤原宮跡」は我が国最初の本格的な都城の中核部であり、歴史上・学術上の価値はきわめて高い。また、史跡「飛鳥水落遺跡」「酒船石遺跡」は、古代律令国家形成期の重要な施設であることから、国営飛鳥歴史公園としての整備が望まれている。

3. 国営公園事業に関連して、県が行う史跡整備等の推進

飛鳥時代の政治・文化を知る上できわめて重要な遺跡である、史跡・名勝「飛鳥京跡苑池」の復元整備の推進に向け、事業計画の早期決定並びに早期整備に取り組んでおり、平成28年4月にはエントランス施設を開設したところ。今後は第一期整備として全容が明らかになる南池周辺を中心に整備を進める。



特別史跡藤原宮跡

◆ 史跡・名称「飛鳥京跡苑池」の復元整備の推進



南池



史跡 飛鳥水落遺跡



H28. 4月オープン
エントランス施設



高市郡
明日香村

国営飛鳥歴史公園
甘檜丘地区

国営飛鳥歴史公園
石舞台地区

国営飛鳥歴史公園
祝戸地区



史跡 酒船遺跡

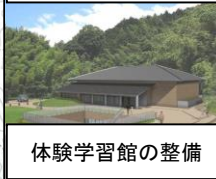
国営飛鳥歴史公園
高松塚周辺地区

◆キトラ古墳周辺地区の整備

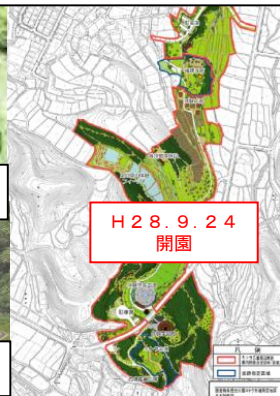


キトラ古墳の整備

H28.9.24
開園



体験学習館の整備



凡例
★：駐車場

国営飛鳥歴史公園
キトラ古墳周辺地区